

# 令和 4 年度の監修会議・ワーキング部会の開催状況

令和 5 年 3 月

沖縄県



# 1. 監修会議、ワーキング部会の構成と役割

- 監修会議では、学識有識者7人のほか、関係機関を協力委員として配置。【設置要綱 第3条】
- 監修会議は、製作及び監修方針をとりまとめる場であり、各分野の監修に係る詳細事項については、ワーキング部会（以下「WG部会」という。）にて検討する。【設置要綱 第2条及び第6条】
- 各分野のWG部会には、技術継承を図るため、若手を1名程度含める。

**首里城復興基金事業 監修会議**  
 年2回程度開催  
 製作及び監修方針をとりまとめる場  
 (1) 製作体制及び製作作業工程に関すること。  
 (2) 監修方法及び監修頻度に関すること。

|    |         |        |                     |
|----|---------|--------|---------------------|
| 委員 | 歴史(琉球史) | 田名 真之  | 沖縄県立博物館・美術館 館長(委員長) |
|    | 歴史(漆工史) | 安里 進   | 沖縄県立芸術大学 名誉教授       |
|    | 歴史(文化史) | 波照間 永吉 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授       |
|    | 彫刻・焼物   | 西村 貞雄  | 琉球大学 名誉教授           |
|    | 彫刻・焼物   | 波多野 泉  | 沖縄県立芸術大学 学長         |
|    | 染 織     | 寺田 貴子  | 活水女子大学 特別専任教授       |
|    | 瓦 類     | 与座 範弘  | 沖縄県立芸術大学 工芸専攻非常勤講師  |

※協力委員6人（名簿は別紙参照）

WG



## 各分野のWG

年2回程度+適宜開催、製作や監修方法等の詳細検討

分野別の専門家（2～3人）、歴史系委員1人以上、製作技術者の代表で構成 ※分野別WG部会での参加者は★

※分野別WG部会での参加者は★

## 彫刻WG

| 専門分野    | 名前     | 所属            |
|---------|--------|---------------|
| 彫刻・焼物   | 西村 貞雄  | 琉球大学 名誉教授     |
| 彫刻・焼物   | 波多野 泉  | 沖縄県立芸術大学 学長   |
| 彫刻      | 砂川 泰彦★ | 沖縄県立芸術大学 教授   |
| 歴史(琉球史) | 田名 真之  | 沖縄県立博物館・美術館館長 |
| 歴史(漆工史) | 安里 進   | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |
| 歴史(文化史) | 波照間 永吉 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |

## 焼物WG

敬称略

| 専門分野    | 名前     | 所属            |
|---------|--------|---------------|
| 彫刻・焼物   | 西村 貞雄  | 琉球大学 名誉教授     |
| 彫刻・焼物   | 波多野 泉  | 沖縄県立芸術大学 学長   |
| 焼物      | 森 達也★  | 沖縄県立芸術大学 教授   |
| 歴史(琉球史) | 田名 真之  | 沖縄県立博物館・美術館館長 |
| 歴史(漆工史) | 安里 進   | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |
| 歴史(文化史) | 波照間 永吉 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |

## 瓦類WG

| 専門分野    | 名前     | 所属                     |
|---------|--------|------------------------|
| 瓦類      | 与座 範弘  | 沖縄県立芸術大学 工芸専攻<br>非常勤講師 |
| 瓦類      | 花城 可英★ | 沖縄県工業技術センター<br>主任研究員   |
| 歴史(琉球史) | 田名 真之  | 沖縄県立博物館・美術館館長          |
| 歴史(漆工史) | 安里 進   | 沖縄県立芸術大学 名誉教授          |
| 歴史(文化史) | 波照間 永吉 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授          |

## 染織WG

| 専門分野    | 名前     | 所属            |
|---------|--------|---------------|
| 染織      | 寺田 貴子  | 活水女子大学 特別専任教授 |
| 金工      | 久保 智康★ | 京都国立博物館 名誉館員  |
| 歴史(琉球史) | 田名 真之  | 沖縄県立博物館・美術館館長 |
| 歴史(漆工史) | 安里 進   | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |
| 歴史(文化史) | 波照間 永吉 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |

### 3. 令和4年度における監修会議と各WG部会の開催状況

| 会議名    | 12月          | 1月     | 2月     | 3月          | 備考 |
|--------|--------------|--------|--------|-------------|----|
| 監修会議   | ① 監修会議(12/6) |        |        | ② 監修会議(3/7) | 2回 |
| 彫刻WG部会 | ① 12/19      | ② 1/27 | ③ 2/28 |             | 3回 |
| 焼物WG部会 |              |        | ① 2/3  | ② 3/1       | 2回 |
| 瓦類WG部会 |              |        | ① 2/17 |             | 1回 |
| 染織WG部会 |              |        | ① 2/14 | ② 3/2       | 2回 |

| 月     | 会議名      | 議論の概要  |
|-------|----------|--|
| 12月6日 | 第1回 監修会議 | <ul style="list-style-type: none"> <li>監修会議及びWG部会の進め方の確認</li> <li>技術者選定の基本的な考え方及び各WG部会での選定について確認</li> <li>人材育成・技術継承の方針(製作記録の活用と情報発信など)の確認</li> <li>材料調達の進捗状況の確認</li> </ul> |
| 12~3月 | 各WG部会    | <ul style="list-style-type: none"> <li>製作・監修方針の詳細(製作工程と監修/記録の頻度など)を検討</li> </ul>   |
| 3月7日  | 第2回 監修会議 | <ul style="list-style-type: none"> <li>各WG部会の検討状況、製作・監修事項の報告</li> <li>次年度の検討事項の確認</li> <li>人材育成・技術継承に向けた製作記録の状況の確認</li> <li>製作過程における資料状況とその活用・保管の方針の検討状況の確認</li> </ul>     |

# 4. 本会議における検討内容

- 令和4年度の監修会議等の検討事項は、以下のとおり。第2回監修会議では、今年度の検討状況を報告する。

## 1. 製作・監修方針の検討（監修会議、WG部会）

- 首里城正殿の復元工程に合わせ、国から提供された仕様をもとに、首里城復元に係る製作物を円滑に製作できるよう、監修会議・WG部会、その他関係者等との調整のもと、製作及び監修方針を検討する。
  - 製作及び監修方針については、以下の事項等を中心に検討する予定。
    - ①製作及び監修体制の検討、②製作作業期間（作業工程）、③監修方針及び監修頻度等の設定
    - ④製作方針及び製作進捗確認方法の設定、⑤引渡しまでの製作工程(原型等準備含む)の検討
- 製作・監修方針（共通事項）を検討（資料2参照）
- WG部会別の検討状況を報告（資料3～6参照）

## 2. 次世代への継承（監修会議、WG部会）

- 本事業が将来の技術継承に資するよう、製作過程の記録撮影（動画・静止画）等を行うが、製作時に準備された下絵や石膏原型等を含め、製作記録の情報発信及び活用・保管方法について検討を行う。
- 第1回監修会議のご意見等を踏まえ方針（案）を検討（資料7参照）

## 3. 製作・監修（WG部会）

- 製作作業期間を勘案の上、今年度に必要となる製作作業（下絵・石膏原型の作製、材料確認や試作を含む）及びその監修を行う。
  - 監修については、各WG部会にて対応予定。
- WG部会の検討状況にて報告（資料3～6参照）。令和5年度より本格的にスタート

## 4. 材料調達（監修会議では報告）

- 沖縄県首里城復興基金では、製作物の材料とあわせ、木材及び石材等の調達を行う。監修会議では、その状況について適宜報告する。
- 第1回監修会議以降の調達状況を報告（資料8参照）